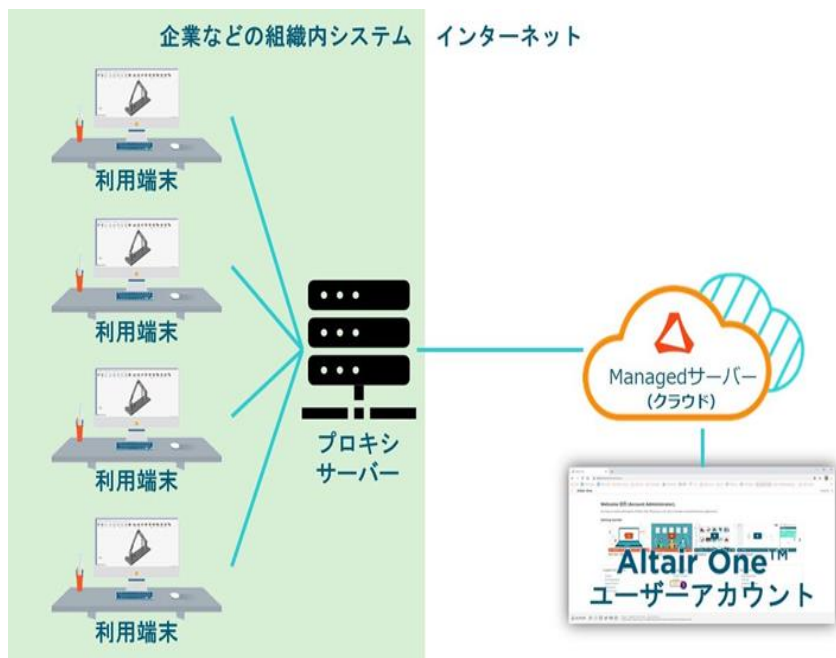


オンプレミスサーバーの利用 ver10.2

— 自社でライセンスサーバーを立て、RapidMinerにアルテアライセンスを適用する —

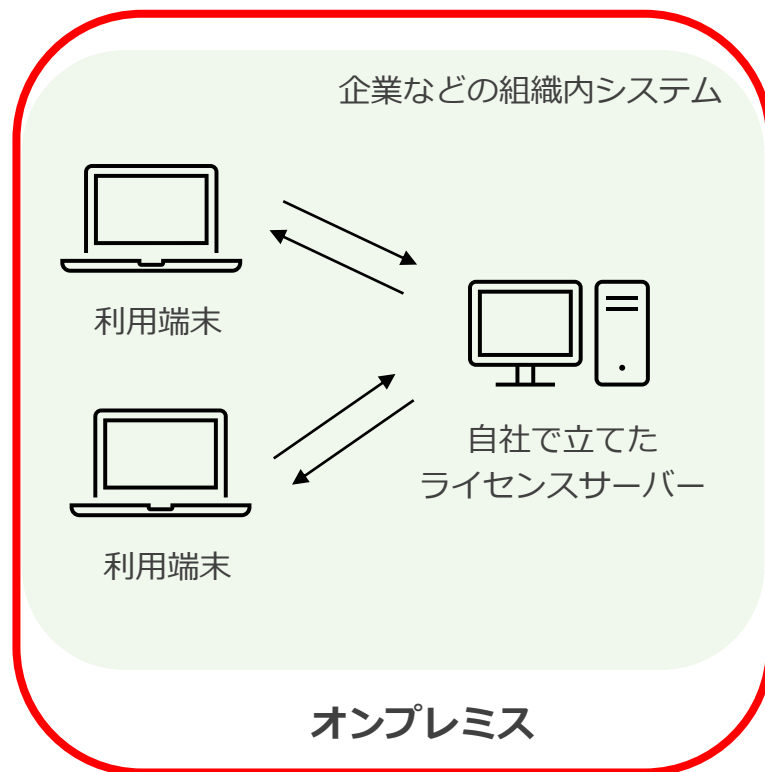
はじめに

この資料では、自社でライセンスサーバーを立てる、**オンプレミスサーバー**でアルテアライセンスを使用する方法について説明します。
ライセンスサーバーにアルテア社のものを使用する場合は、別資料をご覧ください。
(どちらのタイプかは、契約時に決めます。)



Managedライセンス
(別資料で説明)

この資料で説明するもの



オンプレミス

アルテアライセンスについて

Ver10.1より、RapidMinerはアルテアライセンスで動作するようになりました。
RapidMiner Studioでは、基本的に**20 Units**を使用します。

この後の操作では、以下を使用します。

- RapidMiner Studio ver10.2
- Altairライセンスファイル (altair_lic.datファイル)

手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

申請時に必要なもの

オンプレミスサーバーでライセンスを使用する場合は、申請時に以下が必要です。

- OS
- デバイス名
- ホストID
- ホストタイプ (ホストIDの確認の際に、一緒に確認できます)

OSについて

2023年5月現在(ver15.2)、ライセンスサーバーのサポートOSは以下になります。

Officially Supported Platforms:

Platform		Package Name
OS	Architecture	
Windows 7, 8.1, 10, 11, Server 2008R2, 2012, 2016, 2019, 2022	x86_64	altair_licensing_<version>.win64_x64.exe
RHEL 7, 8, 9	x86_64	altair_licensing_<version>.linux_x64.bin
CentOS 7, 8	x86_64	altair_licensing_<version>.linux_x64.bin
SLES 11, 12, 15	x86_64	altair_licensing_<version>.linux_x64.bin
macOS 11, 12, 13	x86_64	altair_licensing_<version>.darwin_universal.zip

デバイス名の確認

コンピュータの名前を確認してください。
(例)



詳細情報

お使いの PC は監視されており、保護されています。

[Windows セキュリティで詳細を確認する](#)

デバイスの仕様

デバイス名	pc10144
完全なデバイス名	
プロセッサ	11th Gen Intel(R) Core(TM) i7-11850H @ 2.50GHz 2.50 GHz
実装 RAM	32.0 GB (31.7 GB 使用可能)
デバイス ID	
プロダクト ID	
システムの種類	64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ
ペンとタッチ	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません

ホストIDの確認

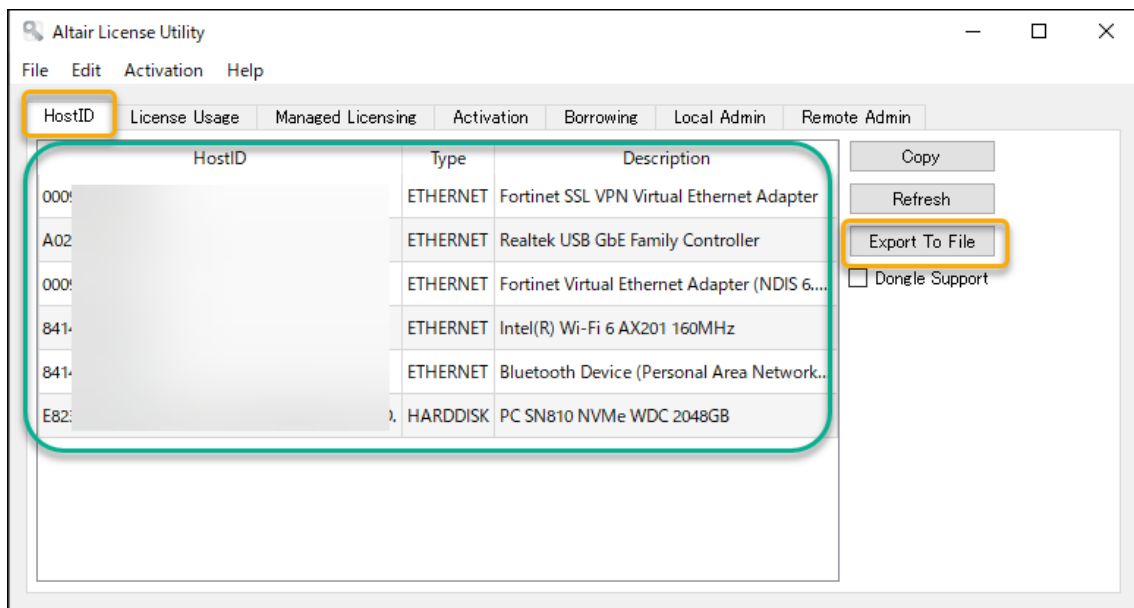
① 以下のリンクより、ご使用のOSに応じたホストID確認用プログラムをダウンロードします

https://community.altair.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0117303&sys_kb_id=6fe2addc1bf70114c4dfdbd9dc4bcb9d&spa=1

② ファイルを展開します

③ 「almutil_gui」を実行します

④ 「HostID」タブでホストIDを確認できます



申請には、この内の1つを使用します。

複数表示される場合は、常に参照できるホストID(VPNやBluetoothなど利用環境によって参照できない可能性のあるホストIDを避けて)を申請に使用してください。

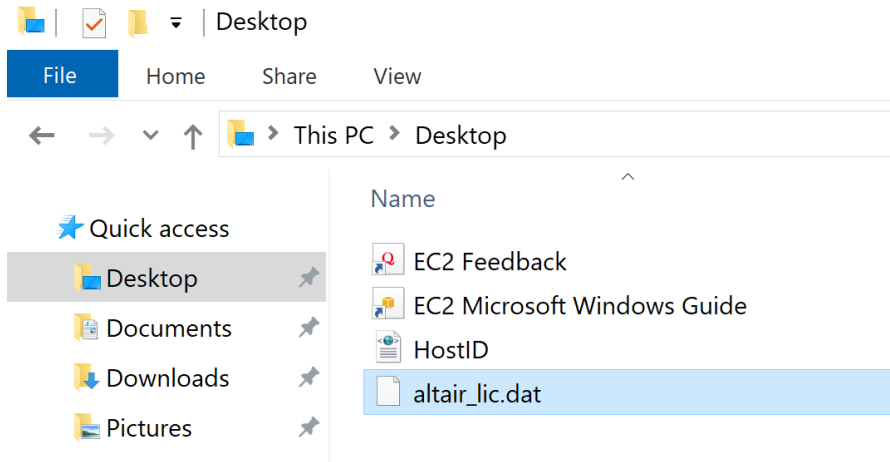
どのホストIDかわからない場合は、「Export to File」ボタンで生成されるテキストファイルを申請時に添付してください。

手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

サーバーを立てる

- ① ライセンスファイルをサーバーの任意の場所に配置します (以下はデスクトップの例)



- ② 代表者がAltair Oneにアカウントを作成し、Marketplaceへ向かいます。

Altair One: <https://altairone.com/Dashboard>

※すでにアカウントを作成している場合は、ログインしてください

Welcome to Altair One™

E-mail *

 [Need Help?](#)

Continue

Don't have an account [Register](#)



Additional Services ▾

Support & Services
Community & Support
Marketplace
Altair Connect

Manage Account
Managed Licenses
Profile
Users

Registerを選択

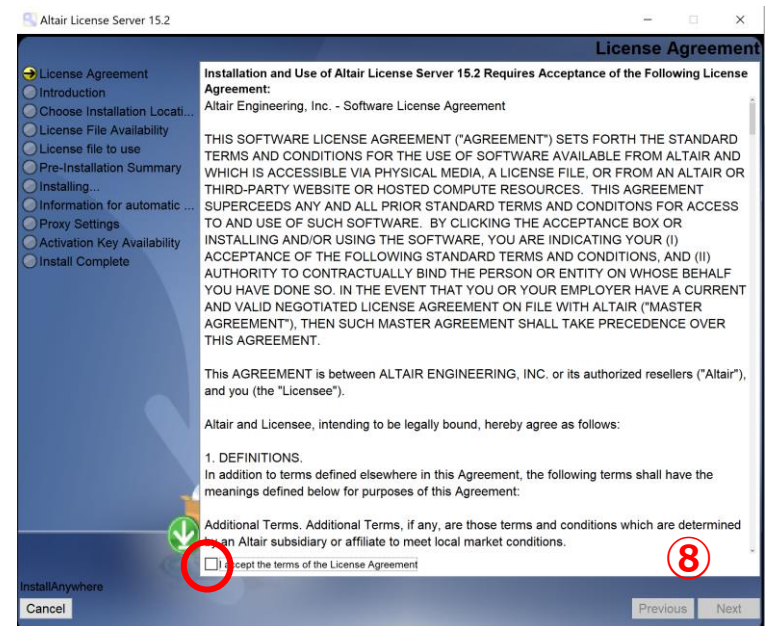
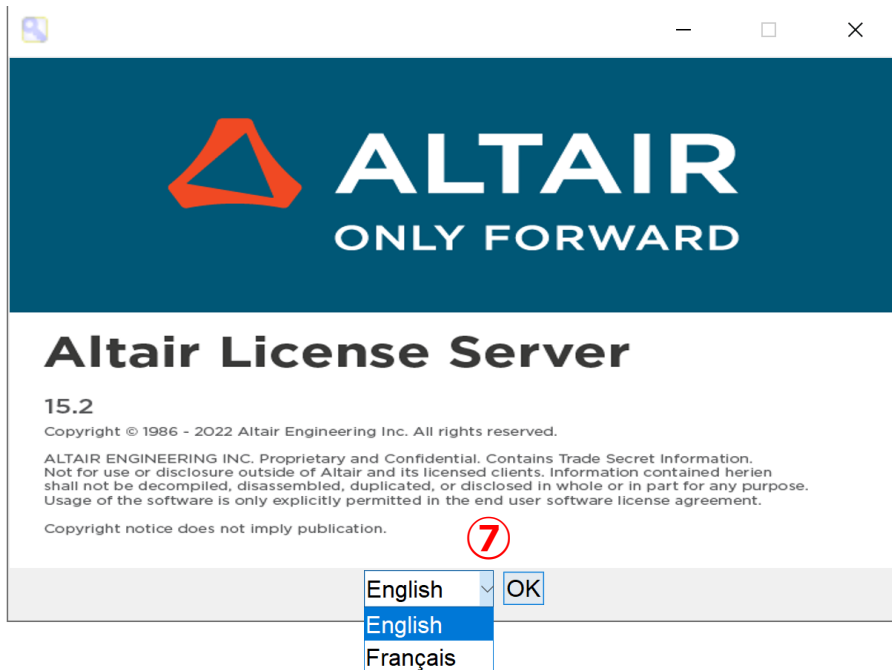
サーバーを立てる

- ③ 左のカテゴリより、Product Groups > Data Analyticsを選択します
- ④ RapidMinerを選択し、Try Buyをクリックします
- ⑤ License Managerタブに移動し、ご使用のOSに合ったインストーラーをダウンロードします。

The screenshot shows the Altair One website interface. On the left sidebar, under 'Product Groups', 'Data Analytics' is selected with a red circle and arrow labeled ③. The main content area displays several product cards. The 'RapidMiner Studio' card is highlighted with a red circle and arrow labeled ④, pointing to its 'Try / Buy' button. On the right-hand panel, the 'License Manager' tab is selected with a red circle and arrow labeled ⑤.

サーバーを立てる

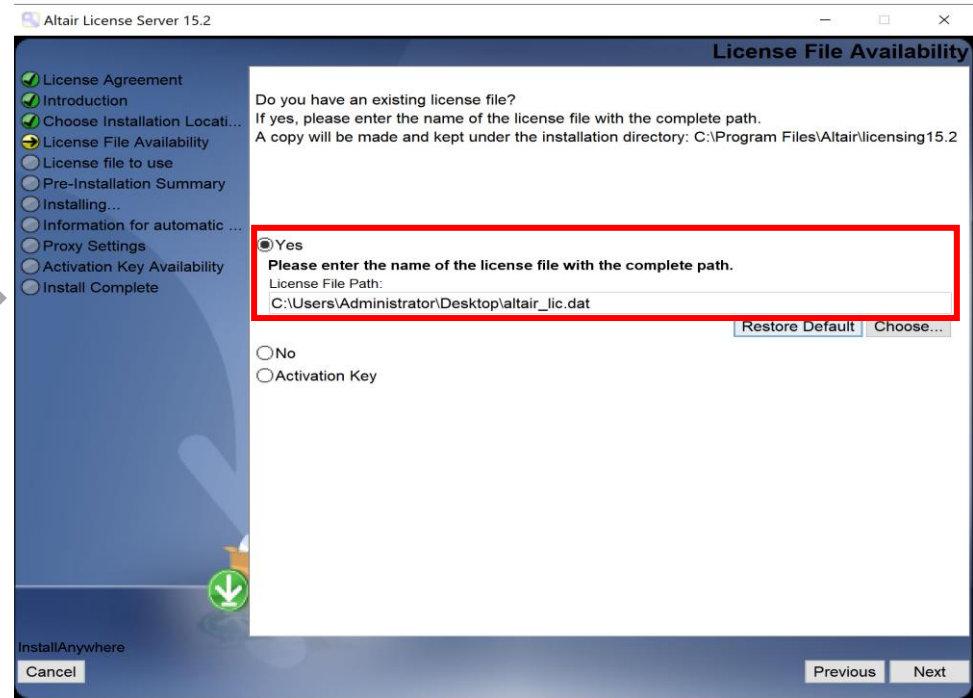
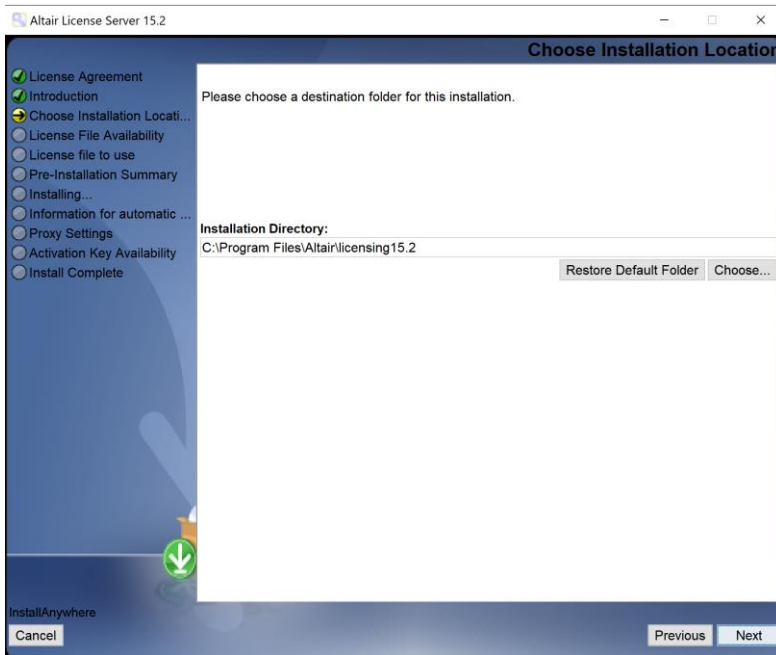
- ⑥ ダウンロードしたインストーラーを実行します
- ⑦ 立ち上がれば、OKボタンを押してダイアログを進めます
- ⑧ License Agreementを下までスクロールし、同意してNextをクリックします



サーバーを立てる

⑨ インストールディレクトリを設定し、Nextをクリックします

⑩ Yesを選択し、①でライセンスファイルを置いた場所のパスを入力し、Nextをクリックします



デフォルトパス

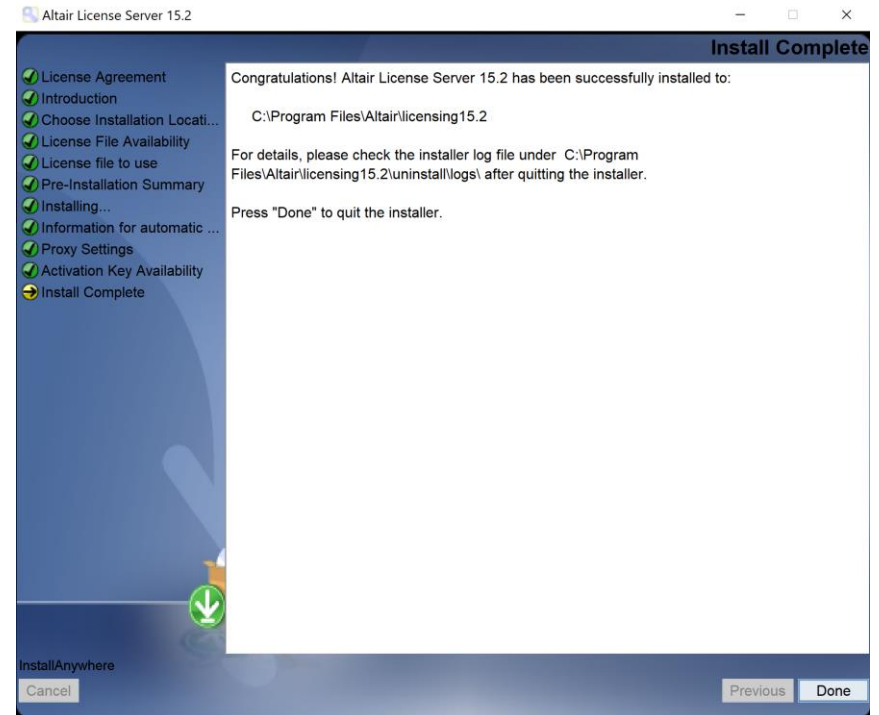
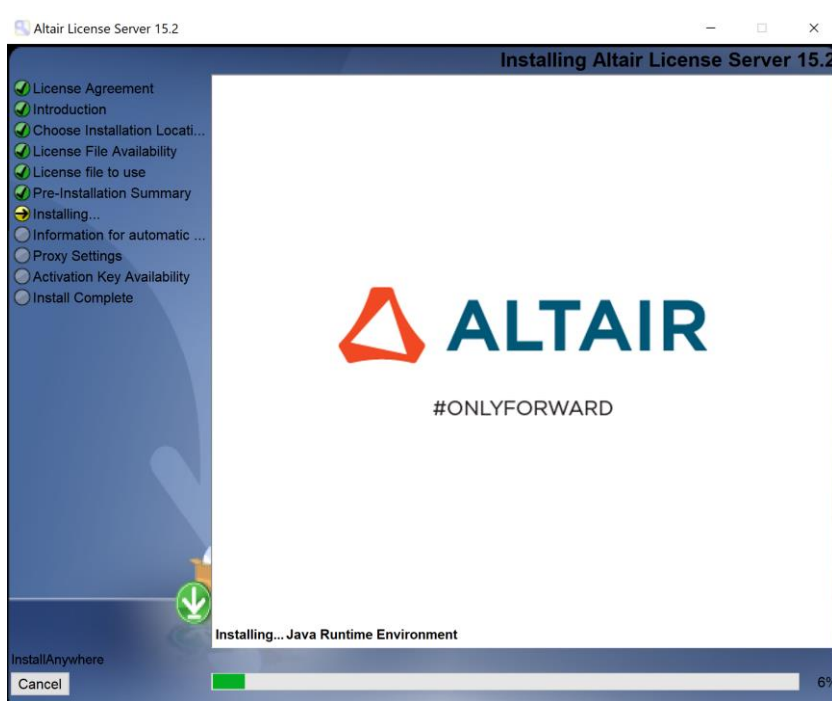
Windows: C:\Program Files\Altair\licensing15.x

Linux: /usr/local/altair/licensing/15.x

例) C:\Users\Administrator\Desktop\altair_lic.dat

サーバーを立てる

- ⑪ インストールサマリーが表示されます。確認後、Installをクリックしてインストールを開始します
- ⑫ Doneをクリックし、インストールを終了します



サーバーを立てる

⑪で、プロキシ等でライセンスサーバーがインターネットへアクセスできない場合は、「Automated Usage Reporting」が表示されます。

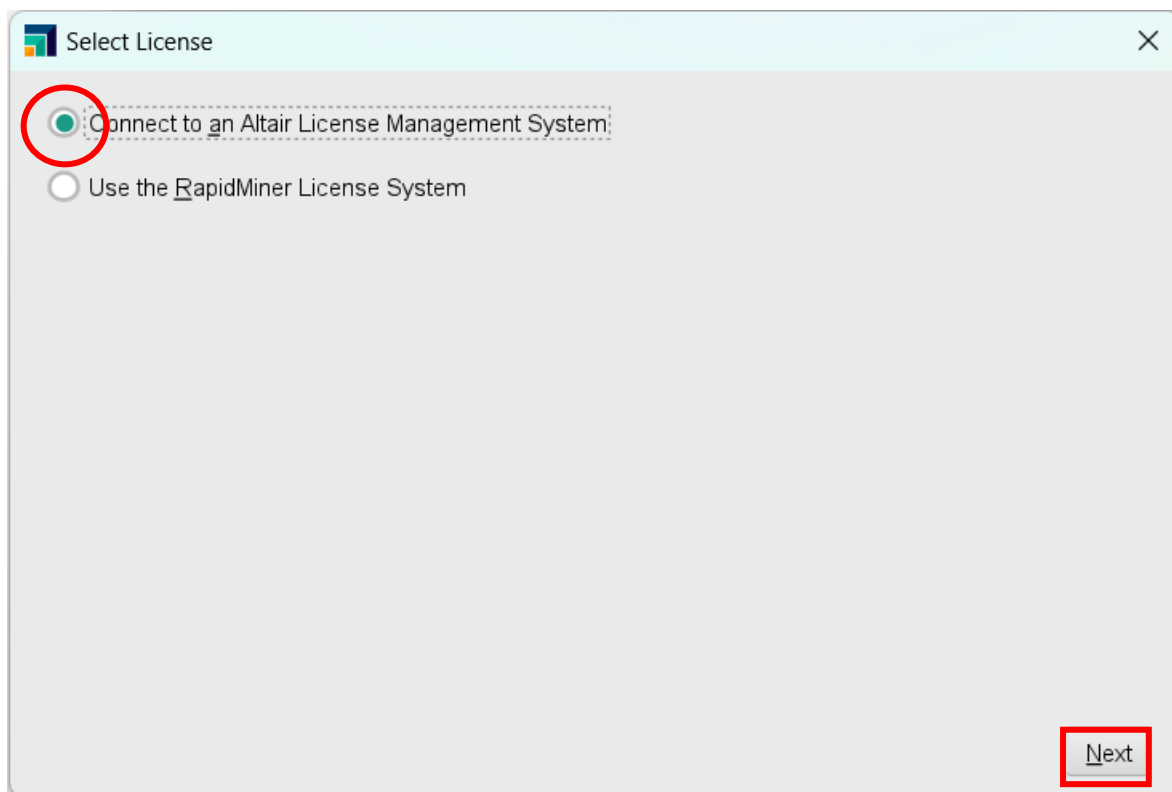
ライセンスの使用量ログを自動送信する場合は、Yesをクリックし、必要なプロキシ情報を入力してください。
(p38にも補足があります)

手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

初回起動時

RapidMiner Studioを初めて起動させた場合、ライセンスを選択する画面が表示されます。Connect to an Altair License Management Systemを選択して、Nextをクリックします。



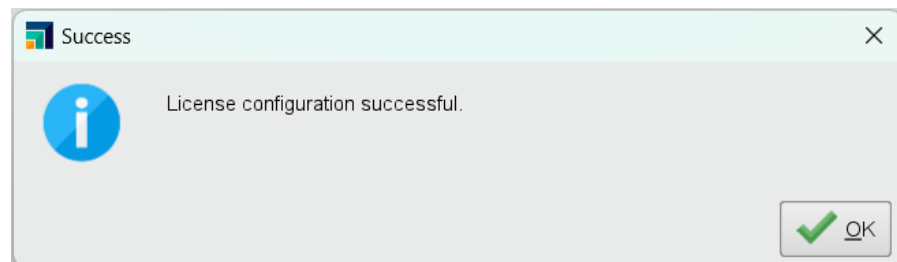
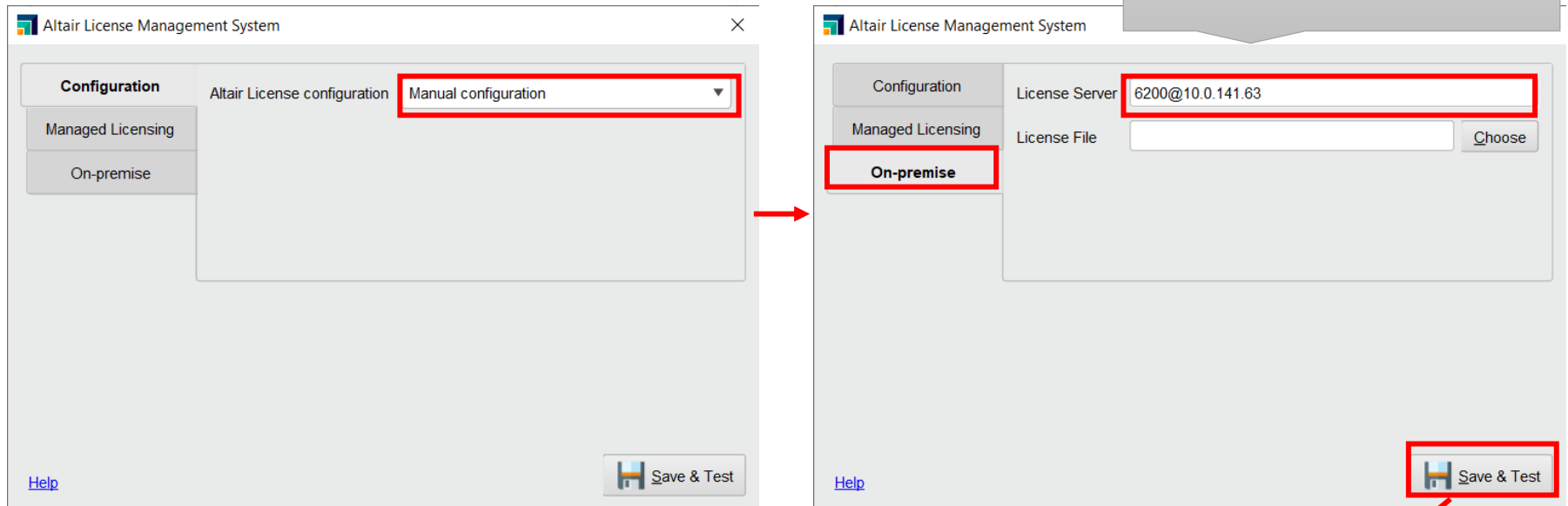
初回起動時

Configurationタブで、Manual configurationを選択します。
次にOn-premiseタブで、License Serverに以下を入力します。

「6200@<ライセンスサーバーのIPアドレスorデバイス名>」

Save & Testをクリックして、Success画面が表示されれば成功です。

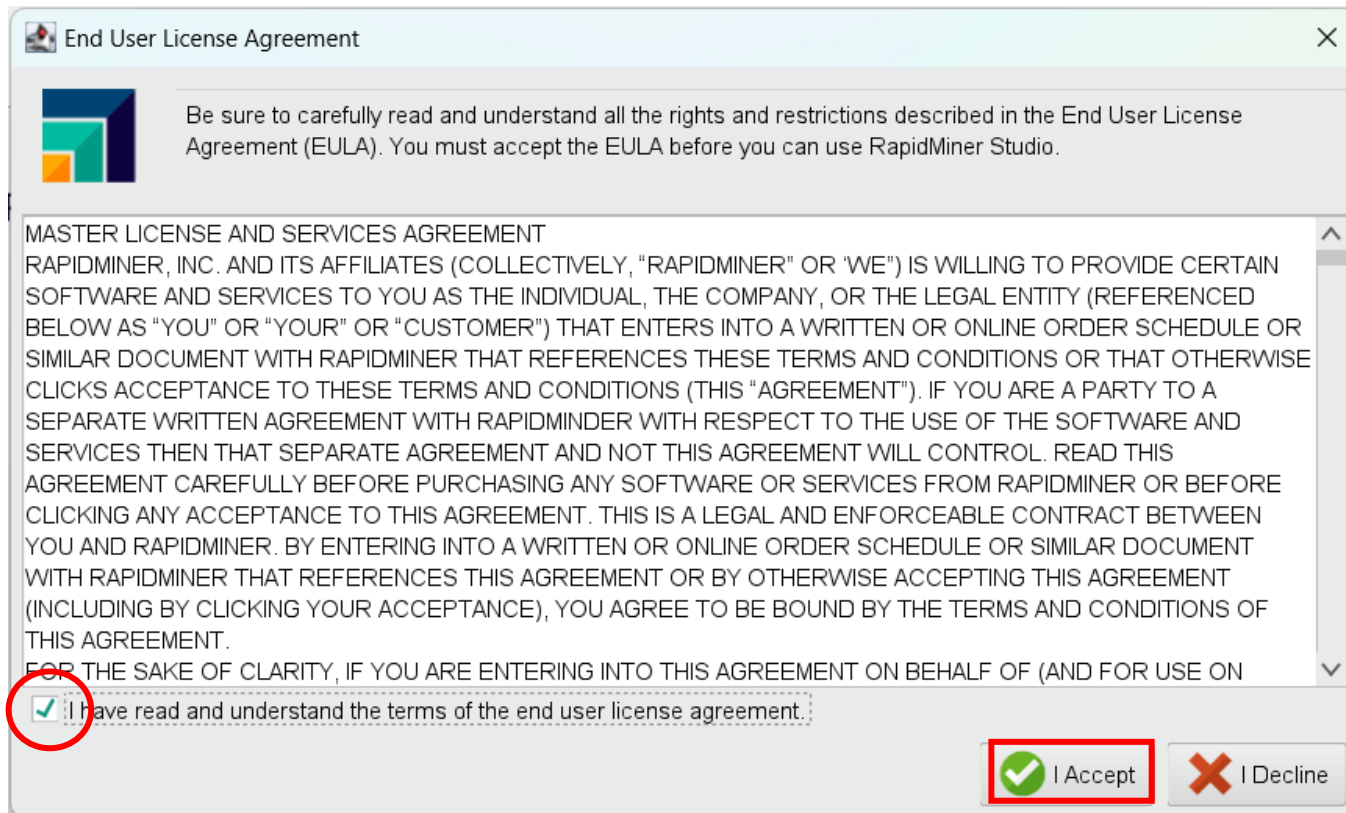
例) 6200@10.0.141.63 など



初回起動時

OKをクリックすると、RapidMinerの起動が始まります。

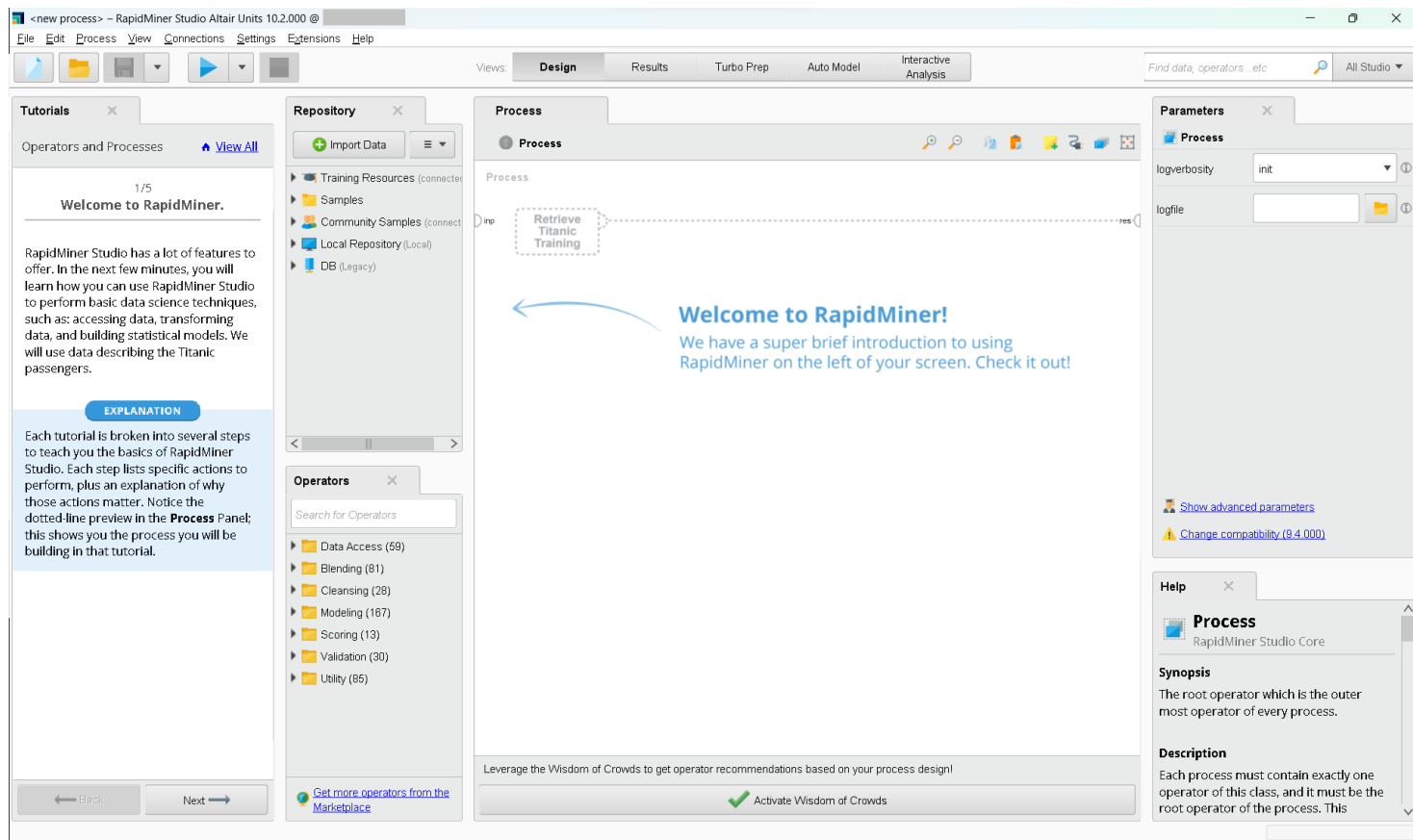
EULAが表示されるので、内容を確認してチェックを入れて、I Acceptをクリックします。



初回起動時

以下の画面が表示されれば、RapidMinerの起動ができています。
(初回起動時はチュートリアル画面から始まります。)

[チュートリアルの日本語訳](#)も参考に、RapidMinerをご使用ください。



手順

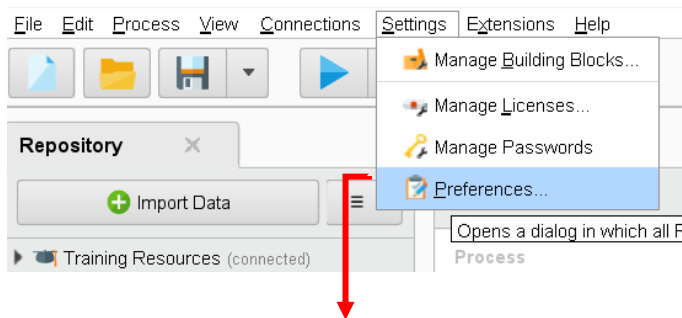
1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

RapidMinerの日本語化

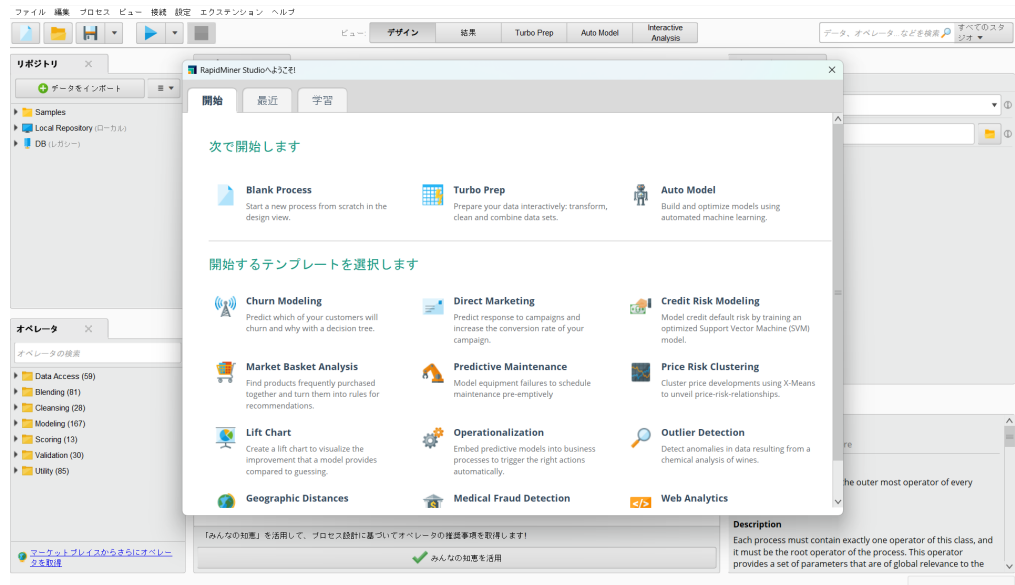
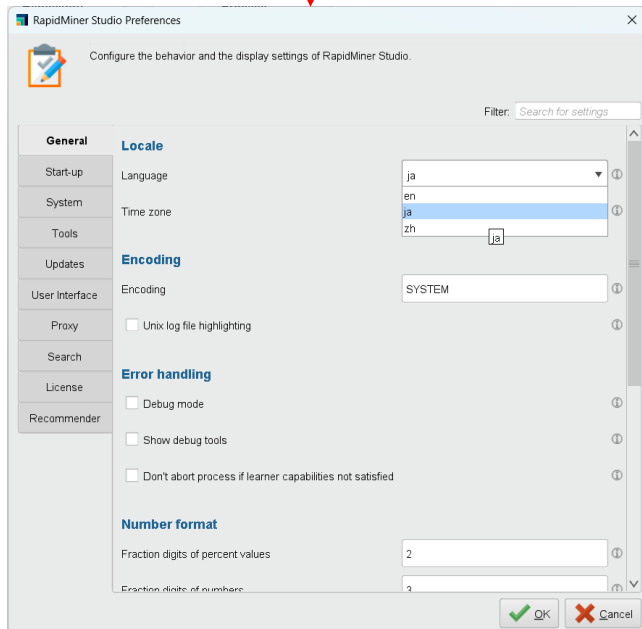
Ver10.2より、日本語化ファイルが同梱されるようになりました。

画面上部のメニュー Settings > Preference > Generalタブ より Localeを"ja"に変更してください。

RapidMinerを再起動させると、RapidMinerが日本語化されます。



Opens a dialog in which all F

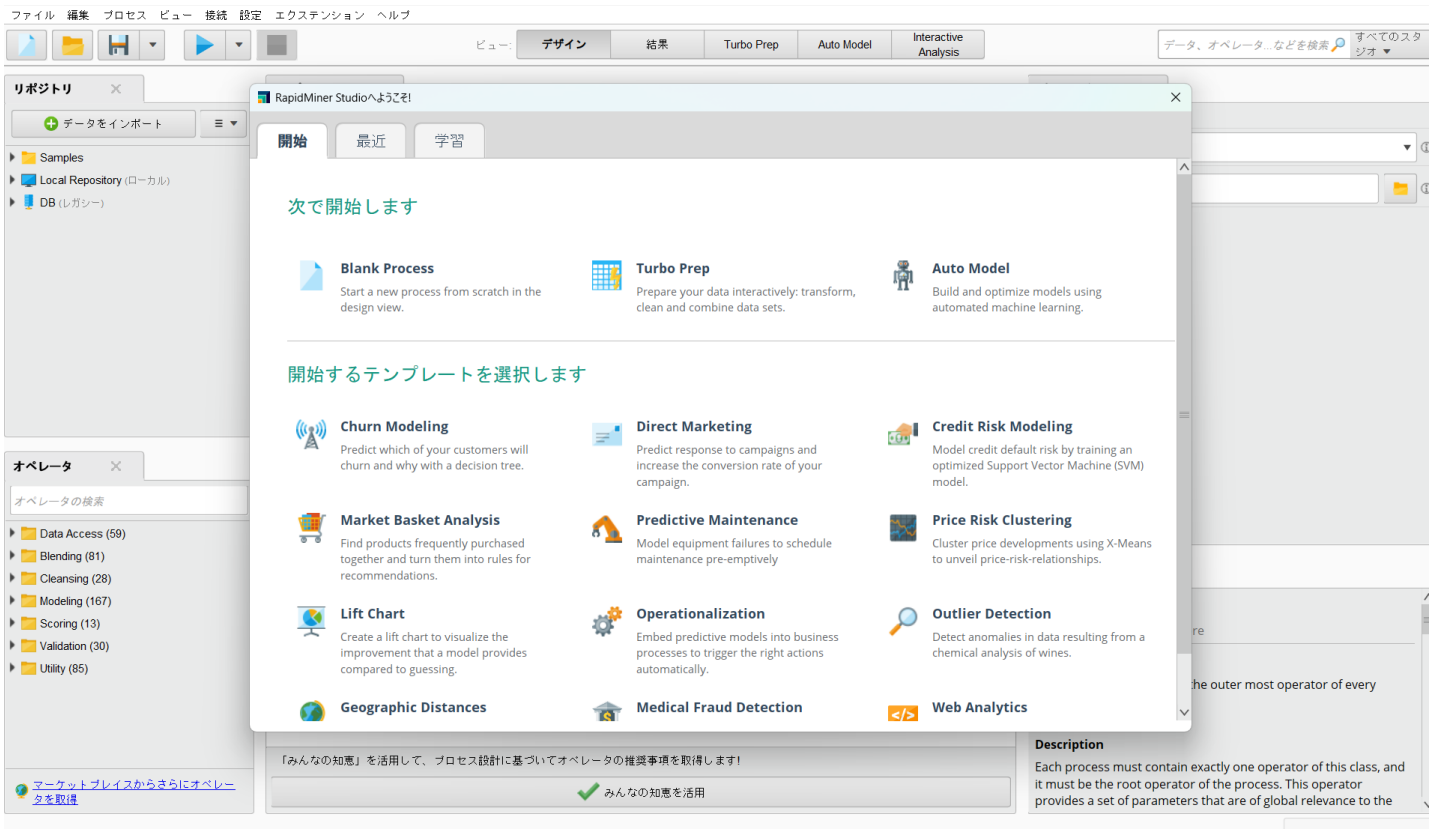


手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

Ver10.1から持ち上げりの場合

既にver10.1でアルテアライセンスを利用していた場合は、そのままver10.1時に使用していたアルテアライセンスでRapidMinerを使用できます。起動時にライセンスを選択する画面は表示されません。

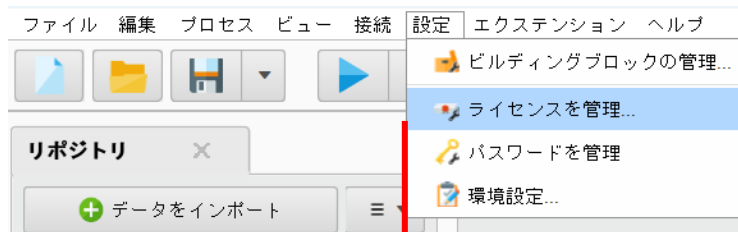


手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

使用しているライセンスの確認

現在使用しているライセンスを確認するには、設定 > ライセンスを管理 をクリックしてください。
ここでどのようなライセンスを使用しているか確認することができます。

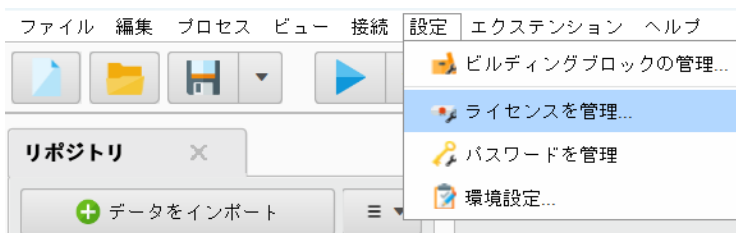


手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

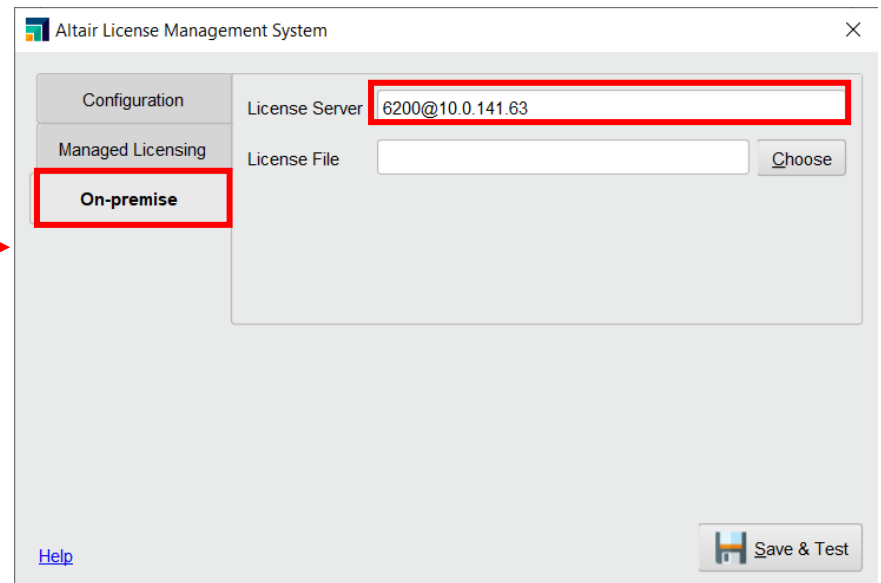
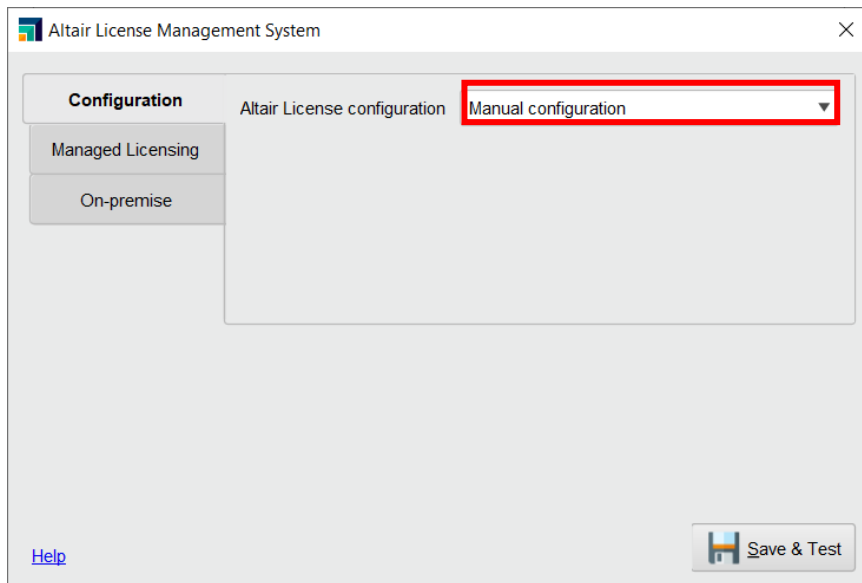
設定を変更したい場合

RapidMiner上で登録を変更したい場合などは、設定 > ライセンスを管理 より Configure Altair License を選択してください。



設定を変更したい場合

ConfigurationタブでManual configurationを選択し、On-premiseタブに移動して再度設定を行ってください。

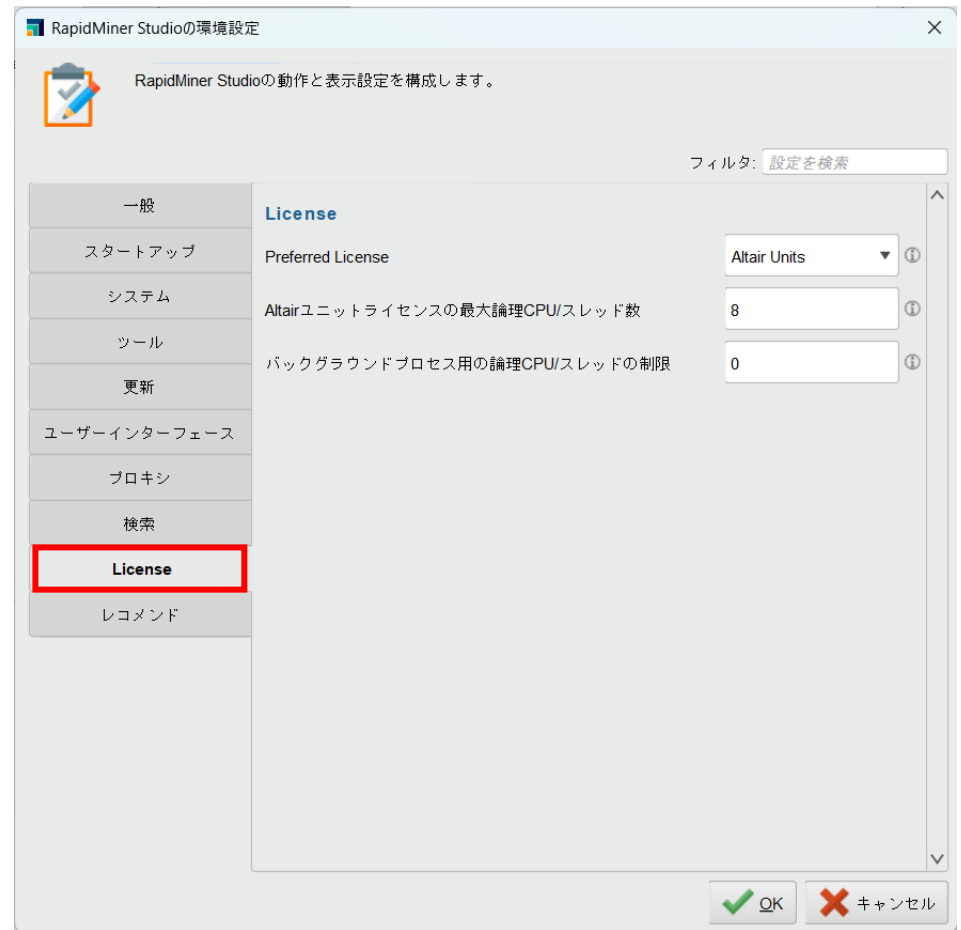


手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

アルテアライセンスの設定が出ない場合

アルテアライセンスに関する設定が出ない場合は、
ライセンスがRapidMinerのものになっている可能性があります。
そのときは、設定 > 環境設定 > License よりAltair Unitsに変更してください。



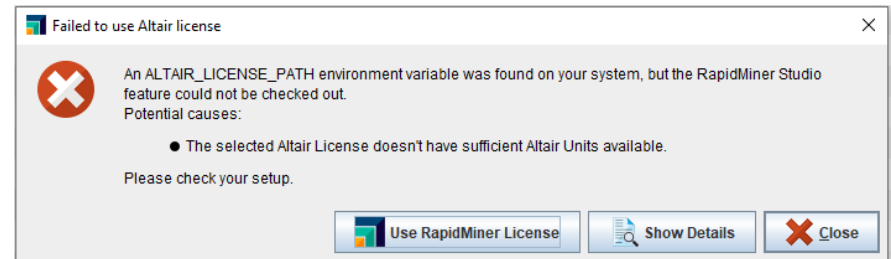
手順

1. ライセンスの申請	p5
2. サーバーを立てる	p10
3. 初回起動時	p17
4. RapidMinerの日本語化	p22
5. Ver10.1から持ち上げりの場合	p24
6. 使用しているライセンスの確認	p26
7. 設定を変更したい場合	p28
8. アルテアライセンスの設定が出ない場合	p31
9. 補足	p33
• Unit数が足りないとどうなるか？	
• レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？	
• 使用しているUnits数はどこで確認できるか	
• 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか	
• Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか	
• 使用量レポートについて	
• ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)	

補足

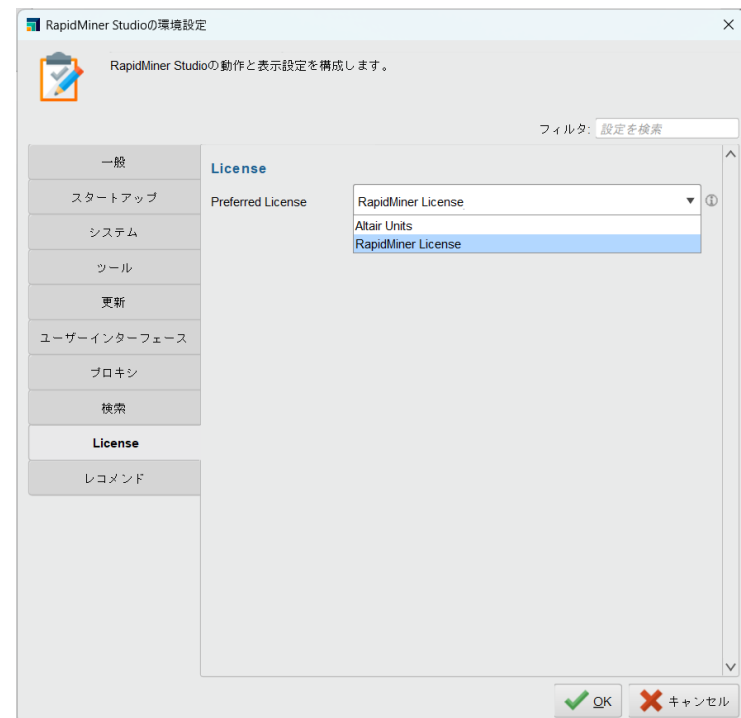
■ Unit数が足りないとどうなるか？

右のようなエラーメッセージが表示されます。



■ レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？

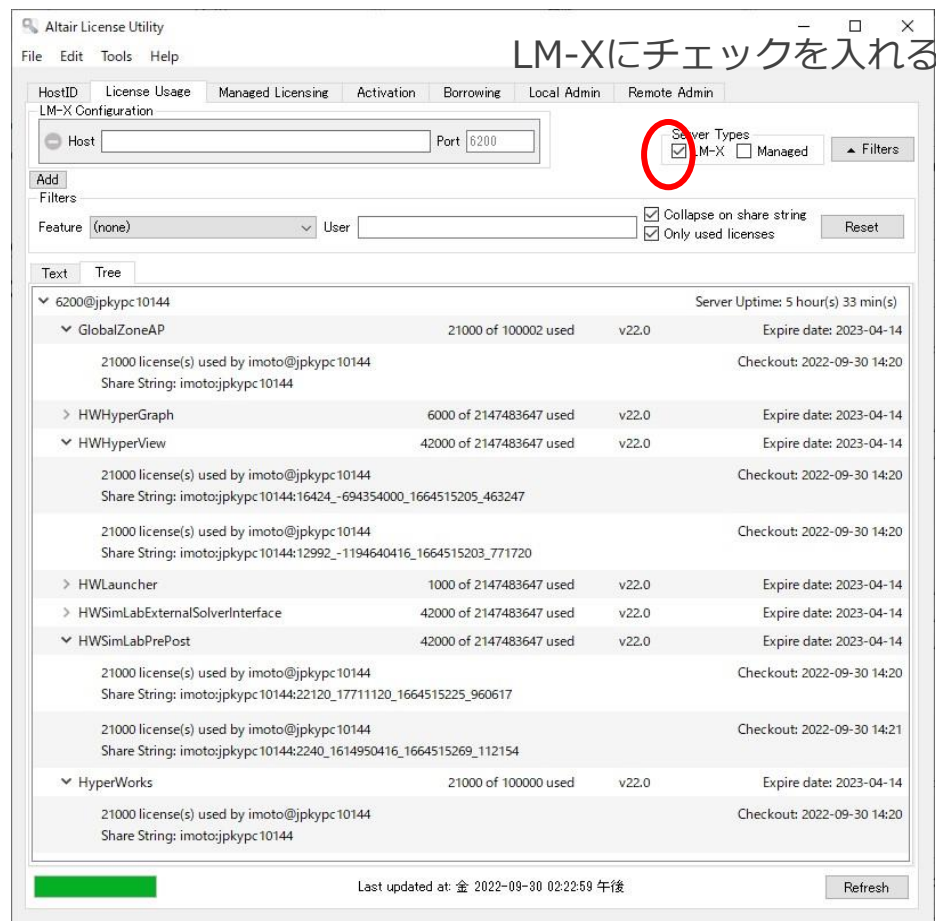
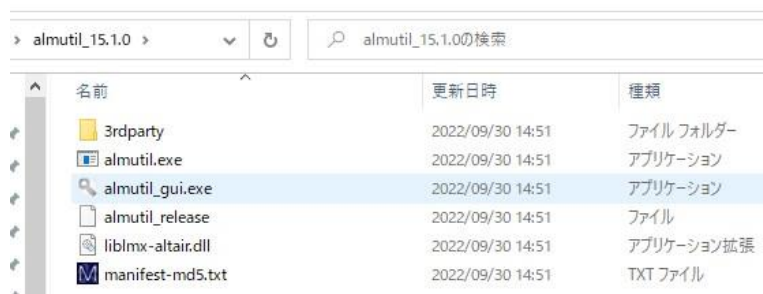
設定 > 環境設定 > Licenseタブ より、Preferred Licenseに“RapidMiner License”を選択し、RapidMinerを再起動してください。



補足

■ 使用しているUnits数はどこで確認できるか

Altair License Utility((almutil_gui)のLicense Usageタブで確認可能です。



補足

■ 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか

各種設定は「altair-serv.cfg」に記述します。

- 通信ポート（デフォルト6200）
- ログファイルの出力先
- ライセンスファイルの場所
- 利用制限など

※記述を変更した場合、「Altair License Server」のサービス再起動が必要です。



The image shows a Notepad++ window titled 'C:\Program Files\Altair\licensing15.1\altair-serv.cfg - MIFES 10'. The window contains the following configuration text:

```
25 # The UDP port is fixed to 6200 and cannot be changed.
26 # See http://www.iana.org/assignments/port-numbers
27 #*****
28 TCP_LISTEN_PORT = 6200
29
103 # Examples:
104 # LOG_FILE = c:\program files\lms-server.log
105 # LOG_FILE = /home/user1/lms-serv.log
106 LOG_FILE = C:\Program Files\Altair\licensing15.1\logs\jpkypc10144.log
107
163 # LICENSE_FILE = /home/user1/floating_license.lic
164 # LICENSE_FILE = /home/user1/floating_license2.lic
165 LICENSE_FILE = C:\Program Files\Altair\licensing15.1
166
290 # Example:
291 # LIMIT_USER_f2_5 = harry joe sam
292 # LIMIT_IPADDR_f3_3 = 192.168.2.* 192.168.4.*
293
294 LIMIT_USER_GlobalZoneAP 50000 = A-san B-san C-san D-san E-san
295 LIMIT_USER_GlobalZoneAP 42000 = F-san G-san H-san
```

Several lines are highlighted in yellow: 'TCP_LISTEN_PORT = 6200', 'LOG_FILE = C:\Program Files\Altair\licensing15.1\logs\jpkypc10144.log', 'LICENSE_FILE = C:\Program Files\Altair\licensing15.1', and 'LIMIT_USER_GlobalZoneAP 50000 = A-san B-san C-san D-san E-san'.

補足

■ Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか

ALM_HHWU環境変数を追加することで、Managedかオンプレミスかを制御することができます。

環境変数の設定内容	ライセンス取得の動作イメージ
ALM_HHWUの環境変数設定なし	オンプレミス ⇒ Managedの順にライセンス取得を試みます。
ALM_HHWU=F	オンプレミスライセンスのみ取得を試みます。
ALM_HHWU=T	Managedライセンスのみ取得を試みます。

補足

■ 使用量レポートについて

Usage Reporting Toolとは？

Altair License Manager(ALM)をインストールすると、使用量レポートをAltairに自動的に送信するツールが付属します。

自動送信のために、プロキシサーバーの設定が必要です。

License Managerインストール時にレポート送信の可否テストを自動的に行い、通信できない場合はプロキシサーバー情報の入力が必要な旨のメッセージを表示します。

インストール完了後「**alus.conf**」ファイルにプロキシサーバー情報を記述してください。

- ALUS_HTTP_PROXYHOST=<プロキシホスト>
- ALUS_HTTP_PROXYPORT=<プロキシポート番号>
- ALUS_HTTP_PROXY_USER=<ユーザー名>
- ALUS_HTTP_PROXY_PASSWORD=<パスワード>

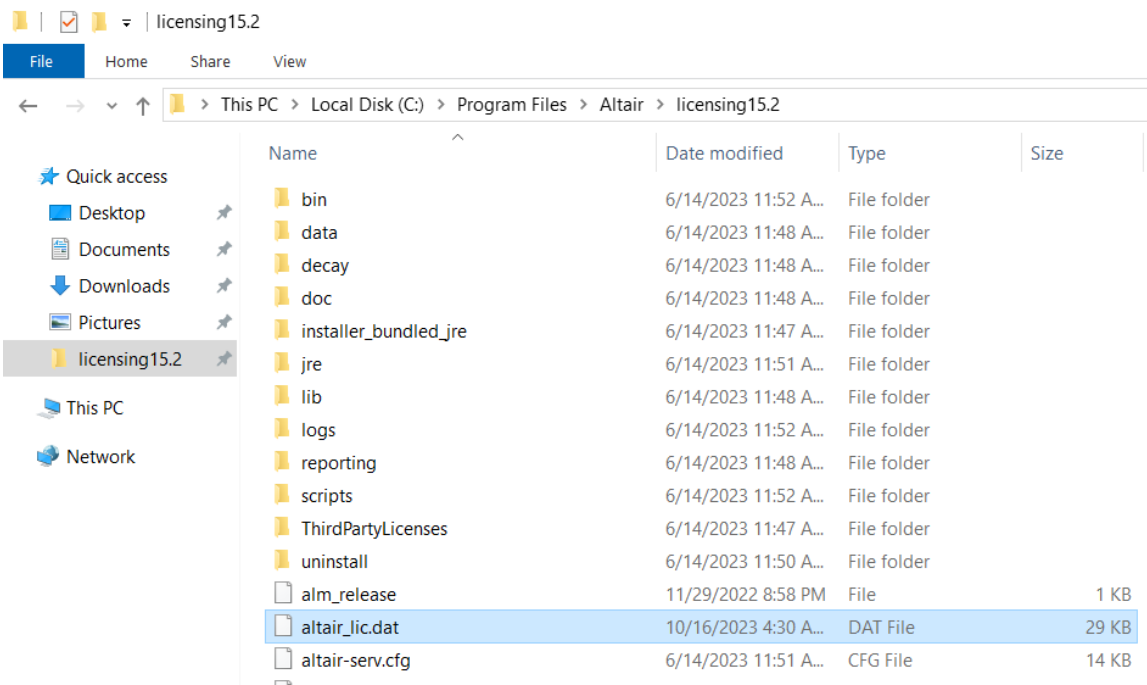
※無効な値が記述されている場合、ライセンスサーバーサービス起動に失敗します。

自動送信が不可の場合は、C:¥Program Files¥Altair¥licensing15.2¥data¥pendingフォルダをお送りいただきます。

補足

■ ライセンスの更新 (ライセンスマネージャのバージョンが同じ場合)

ライセンスを更新するには、'C:/Program Files/Altair/licensing<バージョン>/'に存在するライセンスファイルを、新しいライセンスファイルで、全く同じ名前で上書きします。



新しいライセンスファイルで上書き

その後、Altair License Serverを再起動します。